EE東北'26 屋外展示



エアーキャスター工法

当社初の工法実演パフォーマンス

6月3日および4日に夢メッセみやぎで開催された「EE東北'26」に出展しました。EE東北は、建設事業に関わる様々な工法・技術等を広く紹介する、東北最大級の展示会です。今回の出展は、丸治コンクリート工業所株式会社様との合同展示として実施しました。当社が取り扱う「エアーキャスター」工法をはじめ、「ボラメッシュ」や「GUブロック」を紹介し、多くのご来場者の皆様にご覧いただきました。今回の出展では、従来の屋内ブースではなく、屋外ブースを活用した展示を行いました。なかでもエアーキャスター工法の実演は、多くの注目を集めました。実際にボックスカルバート(重量5174kg)を浮上・移動させる様子をご覧いただくことで、工法の特徴である省力化、施工効率の向上を、より具体的にご説明することができました。

実演中には、建設会社様や官公庁関係者様、設計コンサルタント様など幅広い業種の皆様にお立ち寄りいただき、「実際の施工イメージが分かりやすい」「現場での活用可能性を、ぜひ検討したい」といったご意見を多数頂戴しました。エアーキャスター工法に関する具体的な技術相談や、「ボラメッシュ」や「GUブロック」の製品活用に関する意見交換が活発に行われ、非常に有意義な展示会となりました。

今回のEE東北'26への出展を通じて、多くの皆様へ当社の技術や製品をご紹介するとともに、新たなご縁や今後の事業展開につながる貴重な機会を得ることができました。展示会でいただいたご意見やご要望を、今後の製品開発や提案活動に活かし、より一層お客様の課題解決に貢献できる技術・サービスの提供に努めてまいります。



①



②



③

①今年のノベルティは、3色フリクションのボールペン、うちわ、はたらく車および緑起物消しゴムと多数ご用意。

②丸治コンクリート工業所様と合同展示をおこなった「GUブロック」

③施工時の構造が分かるよう展示された垂直擁壁の「ボラメッシュ」

第1弾 カレー特集 社員オススメSPOT

SOUP CURRY SPICE PICCA

スープカレー　スパイスピッカ

〒990-0821
山形市北町三丁目1番1号

営業時間／11:00～15:00
17:00～21:15

定 休 日 ／月曜日

電話番号／023-673-9339





山形市北町にあるこちらのお店は札幌発祥のスープカレーを山形で楽しめるお店で、スパイスの香り豊かなスープに、野菜やお肉がたっぷり入った、食べ応えのある一杯を味わえます。今回いただいたのは、チキンレッグのスープカレー！大きなチキンレッグがどーんと入っていて、ボリュームも満点。じっくり煮込まれたチキンは柔らかく、ゴロゴロと入った野菜やスープとの相性も抜群です。そして、スープカレーの楽しみのひとつが「辛さ選び」。辛さは辛みなしからデスソースまで選ぶことができます♪ ぜひ、自分好みの辛さで、スパイスの効いたスープカレーを楽しんでみてはいかがでしょうか。

SPICE KITCHEN DAIDAI

スパイスキッチン ダイダイ

〒990-0039
山形市香澄町2-5-16香澄ビル1F

営業時間／11:30 - 14:00
（夜は完全予約制）

定 休 日 ／不定休

電話番号／090-2989-6632





レンガ調の可愛らしい外観に、おしゃれで落ち着いた店内。シーズン限定のランチメニューを公開しているこちらのカレー屋さんは、身体に優しい食事を提案するコンセプトや、ヴィーガンメニューも用意されており、さまざまな方が安心して食事を楽しめる優しいお店だと感じました！ 季節のメニューのひとつ、「レモンとアーモンドミルクのグリーンカレー」は、レモンの爽やかな酸味とスパイスの辛さに、アーモンドミルクのまろやかなコクが加わり、飽きの来ない美味しさでした。身体の中から元気になれるこちらのお店に、皆様もぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか？

新しい環境づくりをめざして
東栄コンクリート工業株式会社
Precast Concrete Innovation
https://www.toeicon.co.jp/

本社・本社工場
住所：山形県山形市富神台 19 番地
電話：023-643-1144（代）
FAX ：023-645-5396

本社工場 生産2課
住所：山形県山形市鋳物町 42 番地
電話：023-645-6448（代）
FAX ：023-645-6447

神町工場
住所：山形県東根市神町西 2 丁目 1 番 62 号
電話：0237-53-9400（代）
FAX ：0237-49-2302

新庄営業所
住所：山形県新庄市若葉町 9 番 11 号
電話：0233-23-3944（代）
FAX ：0233-23-3437

東北支店　仙台営業所
住所：宮城県仙台市泉区虹の丘2丁目8番1号
電話：022-218-2881（代）
FAX ：022-771-8231

東北支店　福島営業所
住所：福島県福島市三河北町 2 丁目 8 番
電話：024-536-3800
FAX：024-536-3803

2026.11

新しい環境づくりをめざして
東栄コンクリート工業株式会社
Precast Concrete Innovation

広報機関誌
プラスアルファ
2026 vol.40+1

Plus Alpha Plus



PAN WALL工法 現場紹介

■ 施工場所：山形県飽海郡遊佐町
■ 製品情報：PAN WALL板（パネル）
■ 工事名：遊佐寺ノ前南地区道路改良工事
■ 発注者：東北地方整備局酒田河川国道事務所

日本海沿岸自動車道・遊佐象潟道路の高規格道路の切土斜面に、パンウォール工法を施工しました。パンウォール工法は、プレキャストパネルを用いた地山補強土工法で、補強土壁理論にて、急勾配切土法面の安定や崩壊防止、不安定化した斜面(擁壁類)の補強に適用されます。表面のデザイン（擬岩模様）は、景観に配慮した美しい仕上がりとなりました。

Construction Report

弊社の製品が使用された現場をご紹介します

01 LAND READJUSTMENT 八木山中央南土地区画整理事業

施工場所 宮城県仙台市太白区

製品情報 構造用垂直積み上げ式擁壁「ゴールコン」
車両用防護柵基礎一体型L型擁壁「GR-L型擁壁」





山林エリアを組合施工により造成した工事で、開発面積は約10ha、130区画の工事でした。
発注図面は現場打ちのL型擁壁になっていましたが、施工業者様の意向により「ゴールコン」が採用されました。







擁壁3ヶ所のうち、1ヶ所が宅地造成擁壁、2ヶ所が道路擁壁(ガードレール付き)でした。宅造区域内であることから、当初はすべて宅造認定擁壁とするようお話がありましたが、擁壁の上が道路になり完成後は市の道路維持課に移管されるという事で、道路擁壁としてご理解いただきました。高さが4m以下になったところからは「Gr-L型擁壁」を使用いただきました。今回のように宅造区域内の擁壁を全て宅造認定擁壁と考えられがちですが、擁壁の上が道路になる場合はガードレールが付く為、宅造認定擁壁に該当する擁壁がありませんので、道路擁壁としてご理解いただきました。

02 令和6年度 土砂災害対策事業 貫津川渓流保全工事

施工場所 山形県天童市

製品情報 練積みブロック擁壁レベルウォール

天童市を流れる貫津川における土砂災害対策・渓流保全を目的とした工事です。
渓流では、大雨などの際に土砂や流木が流れ出すことで、河川の流れや周辺の安全に影響を及ぼすおそれがあります。こうした土砂災害のリスクを軽減し、渓流の流れを安定させるとともに、周辺地域の安全を守るために整備が行われています。今回の工事では、河川の護岸・擁壁部分に当社の練積みブロック擁壁「レベルウォール」が採用されました。
レベルウォールは、河川などの擁壁に使用される製品で、施工性に優れ、従来の積（間知）ブロックと比較して省力化を図ることができます。





03 FESTIVAL 日本一の芋煮会フェスティバル

施工場所 山形市馬見ヶ崎川河川敷

製品情報 YLウォール（大鍋の側面に、火除け・風除けとして設置）
RCボックスカルバート（大鍋の下部に、支えとして設置）

山形を代表する催し「日本一の芋煮会フェスティバル」にて、今年も当社の製品を採用いただきました。大鍋を支えているのが、当社のRCボックスカルバート。その周囲には、擁壁製品のYLウォールが設置されています。こちらは風よけ・火よけとして使用されており、地域のインフラを支えるだけでなく、こうして地域の文化や人々の交流の場を支えることも、コンクリート製品が果たす役割のひとつであると改めて感じました。全国に誇る山形の秋のイベントを当社の製品が足元から支えていることを誇りに思い、今後も様々な形で地域社会に貢献してまいります。



04 WATER CONVEYANCE 広瀬川第3雨水幹線導水管工事2

施工場所 宮城県仙台市

製品情報 プレキャスト特殊床版φ7000mm×4分割（頂版・底版）

JR仙台駅周辺は、明治から昭和初期の早期に合流式下水道区域として下水道整備が進んでおりましたが、その後都市化の影響により流れ込む下水量が増えたため大雨時には下水道の排水能力が不足し、浸水被害が頻発している地区です。本工事の東五番丁地区は仙台市の玄関口のJR仙台駅南西に位置し、交通・商業・教育・文化・住居等のあらゆる面での都市機能が集中しており、緊急かつ効率的な浸水被害軽減が急務となっています。
本工事は、東五番丁地区を対象とする浸水軽減を目的とし、ミニシールド工法による広瀬川第3雨水幹線に接続する導水管を整備するものです。接続している下水道管が共用を開始しているため、底版については施工が困難な為プレキャスト化製品が採用され、また頂版については、下水を阻害する支保工設置が困難であったためプレキャスト化製品が採用されました。





